

「民間教育事業者との連携による教員の資質能力向上事業」

調査の概要

◆課題認識

- ・社会体験研修が体験のみとなってしまう
- ・社会体験研修での学びが、学校での実践に生かされていない

◆調査研究の目的

- ・社会体験研修を通して、教員の資質・能力の向上を図ること

◆調査研究の方法

- ・社会体験研修プログラムを開発する
→教員の資質・能力の向上

◆調査研究校

- ・千葉県千葉市
- ・小学校 69校、中学校31校

◆現状

- ・市内学校数：小学校111校、中学校55校、
国立大附属小学校1校、中学校1校
- ・10年経験者：145名
(100校に在籍、平成29年4月現在)
- ・10年経験者学級担任：128名
(10年経験者の88.3%)
- ・研修の特色：千葉市内の事業所において研修を実施

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・これまで実地体験が中心だった研修を、課題解決型の研修へ
- ・課題解決型の研修先を、3事業所から8事業所へ

②ポイントB

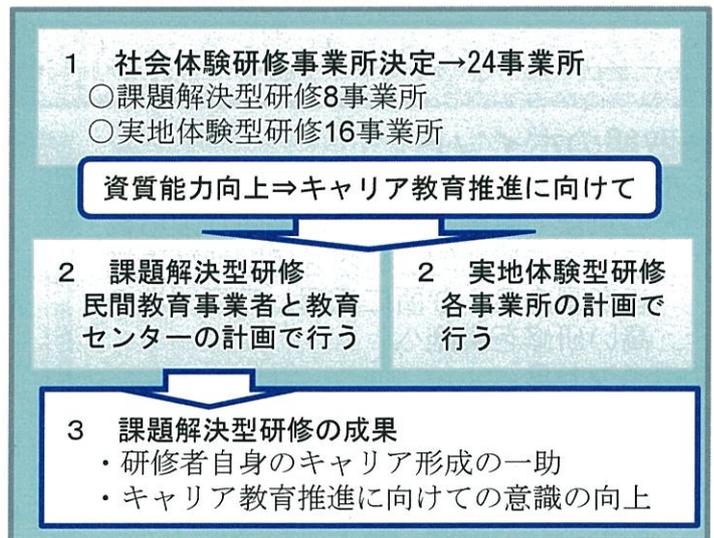
- ・事業所だけで考えていた研修内容を、民間教育事業者と本センターの計画へ

③ポイントC

- ・社会体験研修を振り返り、キャリア教育推進に向けた研修プログラム集作成へ

◆成果

- ・社会体験研修プログラムの開発により、教員のキャリア教育に対する理解が深まった
(研修者のキャリア教育への理解の深まりが77% (H29年6月時点) から98% (H29年8月) へ増加)
- ・研修の成果を学校で生かすことが課題となっていたが、実践に向けての意識が高まった
(キャリア教育の授業等を実践するという回答が60% (H29年6月時点) から99% (H29年8月) へ増加)



今後の課題

◆「社会体験研修」の支援

- ・社会体験研修事業所との連携による研修を継続化
- ・社会体験研修プログラムの活用による各学校でのキャリア教育の改善
- ・社会体験研修の成果をキャリア教育の実践につなげる必要性を重視